

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0821  
 住 所 川崎市川崎区塩浜1-1-1  
 氏 名 プレス工業株式会社  
 取締役社長 美野 哲司  
 (代理人)川崎工場長 加賀爪 哲  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	プレス工業株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区塩浜1-1-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	上記以外の事業者 (任意提出事業者)	
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	31	輸送用機械器具製造業
主たる事業 の内容	自動車部品製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	2,791 k l
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO <sub>2</sub>

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度～平成30年度(報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況(排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 5,946 (調) 5,861 t-CO <sub>2</sub>	(実) 5,621 (調) 5,540 t-CO <sub>2</sub>	(実) 6,021 (調) 5,931 t-CO <sub>2</sub>	(実) 5,556 (調) 5,471 t-CO <sub>2</sub>	(実) 5,768 (調) 5,685 t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 5.5 (調) 5.5 %	(実) -1.3 (調) -1.2 %	(実) 6.6 (調) 6.7 %	(実) 3.0 (調) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	費用(付加価値)		単位	t-co2/百万円	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.9678	1.110	1.064	1.040	0.9388
削減率		-14.7 %	-9.9 %	-7.5 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	基準年度に対し受注量が減少したためCO2排出量は5.5%削減となった。 しかしながら付加価値の高い製品が減産し付加価値の低い製品が増産したため単位当たりの排出量は悪化した。
第2年度	改善活動を実施したが基準年度に対し受注量が増加したためCO2排出量が1.3%増加した。 単位当たりの排出量は、付加価値の低い製品が付加価値の高い製品より生産量が多かったため基準年度より悪化した。
第3年度	基準年度に対し受注量は増加したがエネルギー管理者と協力し改善実施した結果CO2排出量は6.6%削減となった。 単位当たりの排出量は、付加価値の高い製品より付加価値の低い製品の生産量が多かったため基準年度より悪化した。 【3年間総括】3年間計画をたて活動し1年ごとに改善効果を積み上げることで基準年度より排出量を削減することが達成できた。単位あたり排出量は生産割合の影響を受け目標をクリアすることが出来なかった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	計 画	1. 主要設備等の保全管理 2. 証明設備の運用管理 3. 高効率機器の導入 4. 電動力設備の無負荷時消費電力削減 空転防止・インバーター化等の推進
	第 1 年度	1. 照明設備の運用管理 ・工場屋根の明かりとり増設、水銀灯の蛍光灯 LED 化
	第 2 年度	1. 照明設備の運用管理 水銀灯の蛍光灯 LED 化 2. 省エネ設備導入による電動力設備の無負荷時消費電力削減 空転防止・インバーター化等の推進
	第 3 年度	1. 照明設備の運用管理 水銀灯の蛍光灯 LED 化 2. 省エネ設備導入による電動力設備の無負荷時消費電力削減 インバーター化等の推進 3. 高効率機器の導入 老朽設備の更新推進 4. 設備稼働時間の稼働時間見直し
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	



## 4 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 従業員への環境啓発</li><li>2. 産業廃棄物の減量化分別化の推進</li><li>3. 工場建屋、低層屋根への遮熱塗料塗布</li><li>4. 作業効率向上における作業時間短縮</li></ol>
第1年度	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 作業効率の向上（ライン内改善、5S活動）</li></ol>
第2年度	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ISO 14001 2015年度版取得。環境パフォーマンス重視で活動実施</li><li>2. 工場建屋、低層屋根への遮熱塗料塗布</li><li>3. 作業効率、生産性の向上(改善活動、5S活動推進)</li></ol>
第3年度	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ISO 14001 2015年度版取得。環境パフォーマンス重視で活動実施</li><li>2. 作業効率、生産性の向上(改善活動、5S活動推進)</li><li>3. 廃棄物の減量化推進</li></ol>

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	5,271	t-CO <sub>2</sub>
(調)	5,148	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
プレス工業株式会社	川崎市川崎区塩浜1-1-1	3112	自動車車体附随車製造業	5,271 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--